

農道橋の耐震化対策

◆大規模地震発生時、農村地域における避難・救援活動に必須である基幹農道の円滑な通行を確保するため、5橋の耐震化対策を実施

・基幹農道の橋梁及びトンネル全67施設に対し、R2年度までに各施設管理者（市町村）が保全対策のための個別施設計画を策定し、それに基づく対策の実施によりメンテナンスサイクルの確立と機能の維持、安全性を確保

□現状課題

■基幹農道における橋梁の耐震化対策

基幹農道は、農業の物流を支える重要な幹線道路であるとともに、緊急輸送路に接続する農村地域の生活道路として重要な役割を担っており、災害時の避難や救援活動に必須である円滑な通行を確保するため、耐震化対策が必要

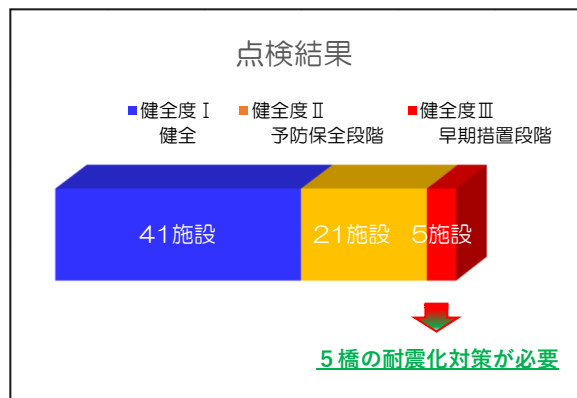
■基幹農道の保全対策

各施設管理者（市町村）が日常管理、定期点検により施設の損傷等を把握し策定した個別施設計画に基づき、基幹農道の機能の維持と安全性の確保を図るため、適切な対策を計画的に実施

■個別施設計画策定施設数

（全施設策定済み）

橋梁	63(橋)
トンネル	4(箇所)
計	67施設



□対策実績

■富士川西部広域農道 2橋（富士川大橋・市川大門高架橋）
H28年度着手 現在工事中（富士川町・市川三郷町）

■金川曾根広域農道 3橋（川浦橋・奥ノ沢橋・一城橋）
R2年度着手 現在工事中（市川三郷町）

□対策内容

橋梁の耐震化として、上部工が落下しないようにする落橋防止装置の設置や橋脚へのコンクリート巻立てなどの補強を行う

■富士川西部広域農道（落橋防止装置、橋脚巻立て）

